吉野復興大臣福島県訪問ぶら下がり会見録

(平成30年5月18日(金) 18:40～18:47

於) 福島県いわき市 スパリゾートハワイアンズ)

1. 発言要旨

今日は二つございます。

一つ目は昨日から本日にかけて、東京と、いわき市で行われている第8回太平洋・島サミット関連行事に参加いたしました。

昨日は日本太平洋諸国友好議員連盟の主催の昼食会、そして、外務大臣主催の歓迎レセプションに出席をいたしました。

また、本日は県知事主催の昼食会、また、総理主催の慰霊行事、いわき市長主催で行われましたワンダーファームの行事に参加をいたしました。

こうした行事を通じ、太平洋島しょ国地域の首脳に対して、復興への支援に対する感謝の気持ちをお伝えしたところです。

また、島しょ国地域の首脳などとともに、東日本大震災で亡くなられた方々への追悼を行い、引き続き復興に全力を尽くす決意を新たにしたところでございます。

さらに、島しょ国地域の首脳などと被災地の日本酒を味わいました。実は昨日、6年連続鑑評会で福島県金賞を頂きました。その中の一つである、同じ金賞を頂いた、いわき市の「又兵衛」を今日は味わわせていただきました。また、ワンダーファームのトマトと一緒に食べ、いわき海星高校の学生によるじゃんがら念仏踊りを見ていただきました。

これから総理夫妻主催の晩さん会とフラガールの公演に出席してまいります。

前回に引き続き今回も太平洋・島サミットを我がホームタウンであるいわき市で開催いただき、感謝をしております。外国からの皆様が復興の姿を知り、地域や食の魅力を楽しんでくださることはとても大切なことでございます。このような機会を通じて、多くの島しょ国地域の方々に被災地の復興を応援する応援団になっていただきたいと、このように思っております。

2点目は、いわき市に戻りました機会を活用して、企業や県関係者とインバウンド誘客の取組を共有する第7回東北インバウンドサミットinいわきに参加して、挨拶をしてまいりました。

また、先ほど、ここスパリゾートハワイアンズのステージにおいて、カレイナニ早川さんに、私から感謝状を授与いたしました。今回、ハワイアンズで太平洋・島サミットが開催されるに当たり、ハワイアンズにゆかりのある、そしてキャラバン隊を組織して全国を駆けめぐり、今は台湾、そして韓国へフラガールを紹介して

くれた早川さんの復興に対する大変な貢献に対して感謝状を授与したものでございます。

2. 質疑応答

(問) 今回、2回連続という形でサミットがいわきで開かれました。さらに、前回見た方も、更に今回また参加されている首脳の方々もいらっしゃいます。こういった姿を前回を知って、今回を知っているという、復興の歩みを知っているという方が海外にいるというのは強みだと思うんですが、復興庁として、復興大臣としてこの今回の成果は、どのように今後生かしていけますか。

(答) おっしゃるとおりでありまして、まずは太平洋島しょ国地域の皆様方から大変な御支援を頂きました。そこに対する感謝の気持ちが第1点です。

そして、第2点は、同じ被災地で3年を経た今、PALMを再び開くことができました。この3年間の間でどれだけ復興が進んでいるかという、時間的な経過を踏まえて見ていただくことができるわけでございますので、そういうところもこのいわきの発展・復興のスピード具合を見ていただくということも、同じ場所で開けた意義があるな、このように思っております。

(問) 先ほど、早川さんに感謝状を贈呈されました。いわきの市民栄誉賞、さらには県知事からの感謝杯表彰も受けておられます。早川さんに対しては、どのようなメッセージを贈られて。

(答) 先ほども早川さんとお話をしていたんですけど、ご本人はもう55年になるそうです。この施設がまだ造成前で、山だったとき、ここに一大リゾート施設を造るという計画を聞いたときに、本当にできるのかな、そう思ったそうです。

でも、「フラガール」という映画を見れば、早川さんの努力がいかに実って、今日のフラ文化を創ったかということが分かるかと思えます。

昨年か一昨年、いわき市は、文化庁長官から、文化のまちという表彰状を受けております。文化庁長官が認めた文化のまちなんです。これも中身は、フラ文化が中心でございますので、そのフラ文化を創ってくれたのは正に、早川さん、先生でございますので、いわきのハワイアンズの歴史も踏まえれば当然のことですし、私は復興大臣ですから、復興庁として震災から7年、この間にいかにフラ文化を通して全国に感謝の気持ちと、そして御支援、そしてフラ文化を全国に伝えてくれた、この功績は大なるものがございますので、今回、復興大臣として感謝状を授与することをさせていただいた次第です。

(以 上)